

# 麗澤瑞浪の 四季だより

第19号 2013年6月27日 発行  
麗澤瑞浪中学・高等学校 自然科学部

## 新. ササユリ



この時期、学園内を散策していると、どこからか甘い香りが漂ってきます。その香りに誘われていくと、きれいなササユリの花に出会います。この花の花言葉は『上品、清浄』です。この言葉の通り、上品で穢れのない美しさを感じさせてくれます。学園内には、数カ所でササユリの自生地を確認することができます。

ササユリは山地の草原、林床に生える多年草です。中部地方から九州にかけて分布しており、関東地方では見る事ができません。四国や九州では、絶滅危惧種に指定され、自生地の減少が気になるところです。岐阜県では、しゅうかわ 庄川町、くしほら 串原

### 統一カテゴリ

- 絶滅
- 絶滅危惧Ⅰ類
- 絶滅危惧Ⅱ類
- 準絶滅危惧種
- 情報不足
- 地域個体群
- その他



COPYRIGHT 2013 野生生物調査協会&EnVision環境保全事務所 All right Reserved

注: 植物名の前に記載した数字は、『麗澤瑞浪の樹木図鑑』の樹木ナンバー。『新』と書いてあるものは、新たに紹介する植物。

町などササユリの自生地も多く、各地で保全活動が展開されています。ササユリは、人の手によって管理されている、明るい林床の里山を好みます。また、発芽してから開花するまで数年かかるので、人の手による森の管理が継続的に行われないと、個体数を減らしてしまいます。

花期は、6月から7月、1輪の淡いピンク色の花を咲かせます。(中には、複数の花を咲かせる個体、白い花を咲かせる個体もあります。)

葉は細く、ササの葉にそっくりです。花が咲いていない時期には、ササユリを見つけることはとても難しいです。この葉の特徴から、ササユリと名づけられました。また、さつき 皐月(6月)のころに咲くことからサツキユリ、これが変じてサユリとも呼ばれています。

## サワガニ

梅雨のこの時期、雨が降っている学園内を歩いていると、たくさんのサワガニに出会います。「カニ」とい



ば主に海にいるイメージがありますが、サワガニは、川の<sup>わ</sup>上流や湧き水のあるきれいな水辺に生息しています。水質汚濁おたぐに弱い<sup>おたぐ</sup>ため、水の汚れているところでは生息できません。水質汚濁の状況を示す指標種しひょうしゅ(ものさし)となります。

カニの中でもただ一種、一生を淡水で過ごします。日本にすむサワガニ類は、サワガニ科、ミナミサワガニ科、ヤマガニ科の3属14種いますが、本州、四国、九州にはサワガニの1種のみが広く分布しています。

サワガニは、住む場所によって体の色が違うことも面白い特徴です。一般的には赤いサワガニが多くみられますが、岩などが多い場所では黒っぽくなり、周りの環境に合わせた体色になります。これは、外敵から身を守るための工夫です。実は、あなたが今まで川で見かけたすべてのカニは、同じ種類だったのです。

### 参考資料

『日本の野生植物』前川文夫 小学館

『新日本植物図鑑』牧野富太郎 北隆館

『まるごと日本の生きもの』佐藤幹夫 学研教育出版

『日本の生きもの図鑑』管絃・丸本忠之 講談社

『魚貝もの知り事典』下中直人 平凡社